

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.1 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.1 まちの将来像とまちづくりの方向性

まちの将来像

セカンドリビングのあるまち

便利なベッドタウンとして発展してきた狛江を、時代に合わせた新たなまちへ。
狛江を大きな家に見立てたとき、狛江駅は玄関にあたります。
今はただの通過点に過ぎない駅周辺の空間を、
くつろぎ、楽しみ、集えるもう1つの居間＝「セカンドリビング」にしたい。
狛江の新しい魅力を、北口から南口にさらに広げていきます。



まちづくりの方向性



<身体・心>

外に出て歩きたくなる、
“なんかいいよね”と感じられるまち。
水と緑を感じられる憩いの場や、
お互いを感じられる場があり、
医療・食・地域の連携で
からだ元気に健やかに
過ごせるまちを目指します。



<余白・遊び>

それぞれの余白時間を
好きに愉しめるまち。
家族や友人、個人で過ごせる場や
趣味などの活動ができる場、
子どもの遊び場が充実し、
新しい自分や好きな自分と出会う
“あそび”から育つまちを目指します。



<時間・空間>

狛江の自然や歴史と、
このまちの未来がつながるまち。
災害への備えと地域コミュニティが
安心につながる、人と人が思い思いの距
離感でつながる、交通利便性が高い立地
を活かし周辺地域とつながる。
そんな“つながる”まちを目指します。

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ



からだで感じるまち

<身体・心>

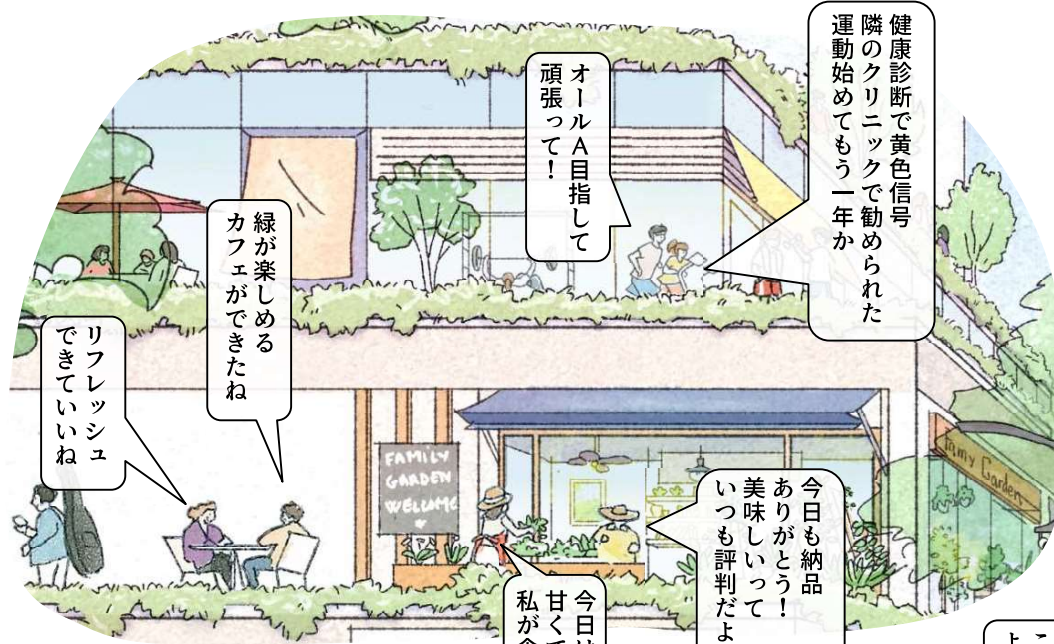
外に出て歩きたくなる、“なんかいいよね”と感じられるまち。水と緑を感じられる憩いの場や、お互いを感じられる場があり、医療・食・地域の連携でからだが元気に健やかに過ごせるまちを目指します。

新たなライフスタイルのイメージ

- ① 歩きやすい環境が整っている
- ② 外に繰り出したくなる
- ③ 気軽に体を動かせる
- ④ 気付くと健康を意識できている
- ⑤ 医療×〇〇で健康ライフが叶う
- ⑥ つながりを感じられる
- ⑦ 体がうれしい食事が食べられる
- ⑧ 心が元気になる自然の空間がある

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ : 解説



第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ



あそびがあるまち

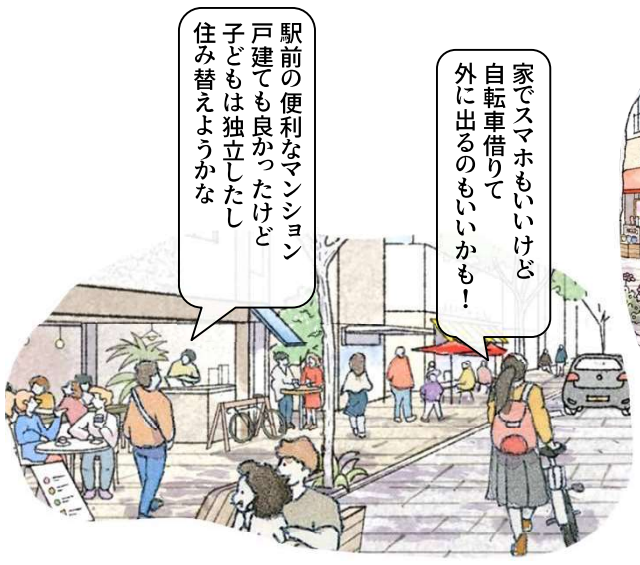
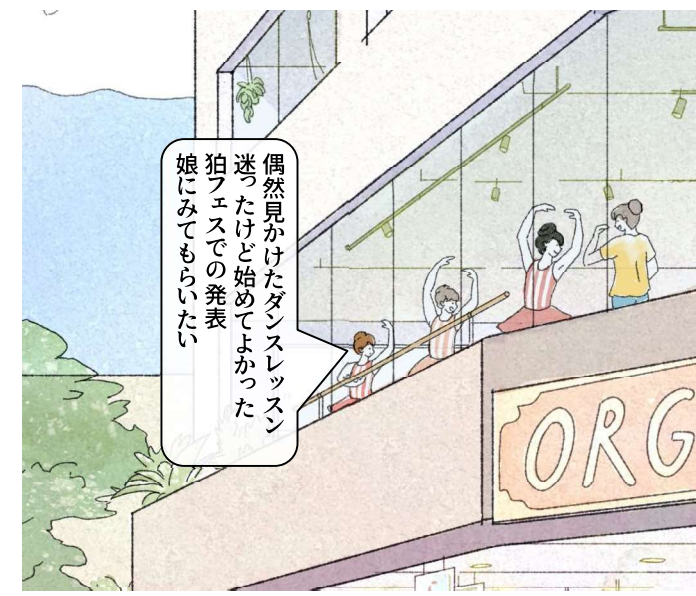
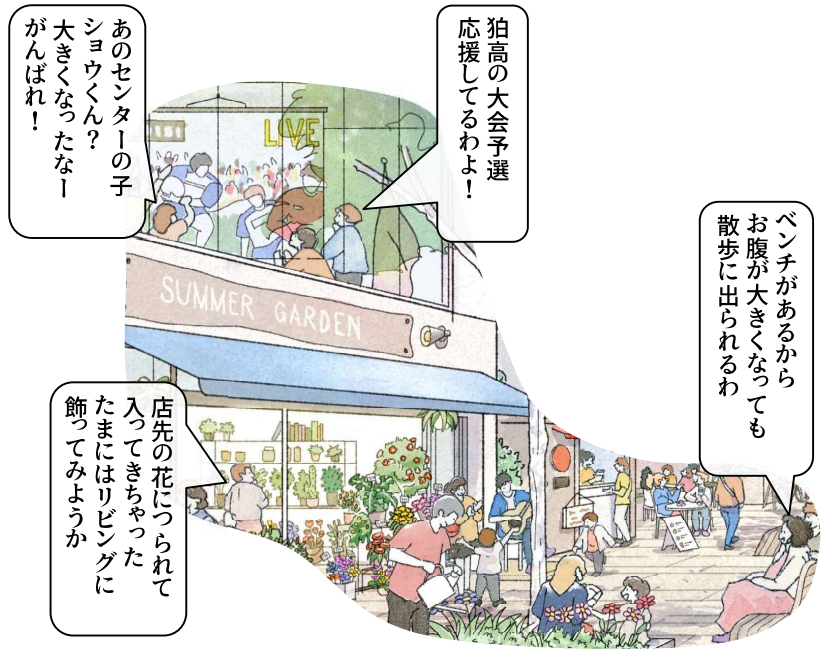
<余白・遊び>
それぞれの余白時間を
好きに愉しめるまち。
家族や友人、個人で過ごせる場や
趣味などの活動ができる場、
子どもの遊び場が充実し、
新しい自分や好きな自分と出会う
“あそび”から育つまちを目指します。

新たなライフスタイルのイメージ

- ① 新しい自分を見つけられる
- ② 好きを極められる
- ③ 食べる楽しみを感じられる
- ④ 自然に触れる楽しみがある
- ⑤ 自分(ぼっち)時間が過ごせる
- ⑥ 交流が生まれる
- ⑦ 子どもの遊び場が充実している

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ :解説



第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ



つながるまち

<時間・空間>

粕江の自然や歴史と、このまちの未来がつながるまち。災害への備えと地域コミュニティが安心につながる、人と人が思い思いの距離感でつながる、交通利便性が高い立地を活かし周辺地域とつながる。そんな“つながる”まちを目指します。

新たなライフスタイルのイメージ

- ① スムーズな移動で便利になる
- ② まちなかに滞留できる場所がある
- ③ 道路空間の役割分担が明確になっている
- ④ 充実した災害対策で安心できる
- ⑤ 充実した防犯対策で安心できる
- ⑥ 粕江の歴史が未来に紡がれる
- ⑦ 水と緑を感じられる
- ⑧ テクノロジーで豊かになる

第3章 まちの将来像とまちづくりの方向性

3.2 新たなライフスタイルのイメージ : 解説

